

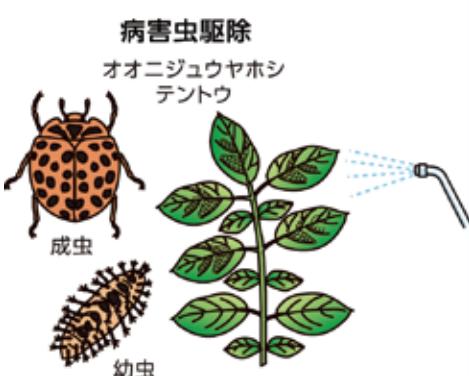
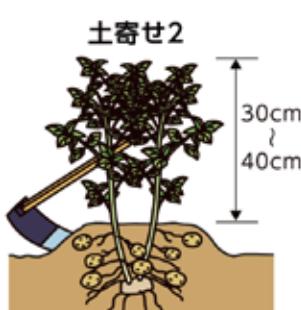
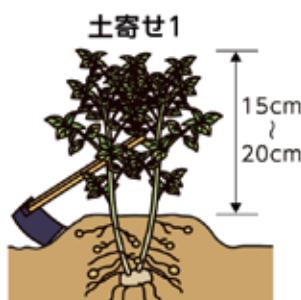
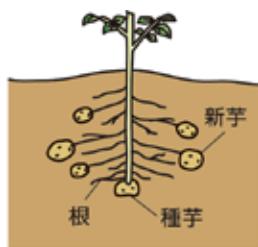


家庭菜園

あなたも  
チャレンジ!

# ジャガイモ 萌芽後の 上手な管理

板木技術士事務所

板木  
利隆

種芋には芽が数個以上あるので、全部伸ばすと、土中で込み合い、芽になくなってしまいます。芽が地上に出ていたら、勢いの良い2本だけを残して他の芽は取り除きます。実際の作業は、残す芽の周りの地面を指先で押さえ動かさないよう注意して横方向にかき取るか、はさみを少し土に差し込んで切り取ります。

ただし、寒気が去り難く、強い晚霜がありそうなときは、芽かきを遅らせ、あえて込み合わせるようにし、危険がなくなつてから芽かきをするよう

らんで形成されるものです。種芋には芽が数個以上あるので、全部伸ばすと、土中で込み合い、芽になくなってしまいます。芽が地上に出ていたら、勢いの良い2本だけを残して他の芽は取り除きます。実際の作業は、残す芽の周りの地面を指先で押さえ動かさない

よう注意して横方向にかき取るか、はさみを少し土に差し込んで切り取ります。

ただし、寒気が去り難く、強い晚霜がありそうなときは、芽かきを遅らせ、あえて込み合わせるようにし、危険がなくなつてから芽かきをするよう

にしましょう。そうすると多くの芽が寄り添い、葉が重なつてるので、下の方の芽は寒害を受けず全滅を免がれるからです。

新芽は地表近くに付き、肥大していくので、種芋から上の土が少ないと芋は十分に肥大せず、地表に現れ緑化する物も出てきますので、株元に土寄せをしてやる必要があります。この土寄せは、あまり早い時期に行うと地温の上昇を妨げるので、芽が15~20cmの高さに伸びてからにし、1回の量はせいぜい6~7cmぐらいとし、2回に分けて行います。

芋を掘り上げてみたら表面があがた状になつていることがあります。これはそうか病の被害です。乾燥し成肥料と油かすを1株当たり各大さじ1杯ほどばらまき、土と混ぜるようにしながら株先へ土を寄せます。

気温が上がり地上部が旺盛に伸びる頃になると病害虫が発生し始めます。特に葉に湿つた黒褐色の斑点が入る疫病は大敵、これはトマトにも伝染するので、早めに薬剤を散布して防ぎましょう。害虫ではテントウムシダマシ(オオニジユウヤホシテントウ)が発生し、成虫、幼虫共に葉の裏側から葉脈を残して食害するので、葉を網目状にしてしまいます。放置しておくと近くのナスなどにも被害が及びますので、早めに適応薬剤を散布して防ぎましょう。

芋を掘り上げてみたら表面があがた状になつていることがあります。これはそうか病の被害です。乾燥し成肥料と油かすを1株当たり各大さじ1杯ほどばらまき、土と混ぜるようにしながら株先へ土を寄せます。

気温が上がり地上部が旺盛に伸びる頃になると病害虫が発生し始めます。特に葉に湿つた黒褐色の斑点が入る疫病は大敵、これはトマトにも伝染するので、早めに薬剤を散布して防ぎましょう。害虫ではテントウムシダマシ(オオニジユウヤホシテントウ)が発生し、成虫、幼虫共に葉の裏側から葉脈を残して食害するので、葉を網目状にしてしまいます。放

置しておくと近くのナスなどにも被害が及びますので、早めに適応薬剤を散布して防ぎましょう。

芋を掘り上げてみたら表面があがた状になつていることがあります。これはそうか病の被害です。乾燥し成肥料と油かすを1株当たり各大さじ1杯ほどばらまき、土と混ぜるようにしながら株先へ土を寄せます。

気温が上がり地上部が旺盛に伸びる頃になると病害虫が発生し始めます。特に葉に湿つた黒褐色の斑点が入る疫病は大敵、これはトマトにも伝染するので、早めに薬剤を散布して防ぎましょう。害虫ではテントウムシダマシ(オオニジユウヤホシテントウ)が発生し、成虫、幼虫共に葉の裏側から葉脈を残して食害するので、葉を網目状にしてしまいます。放